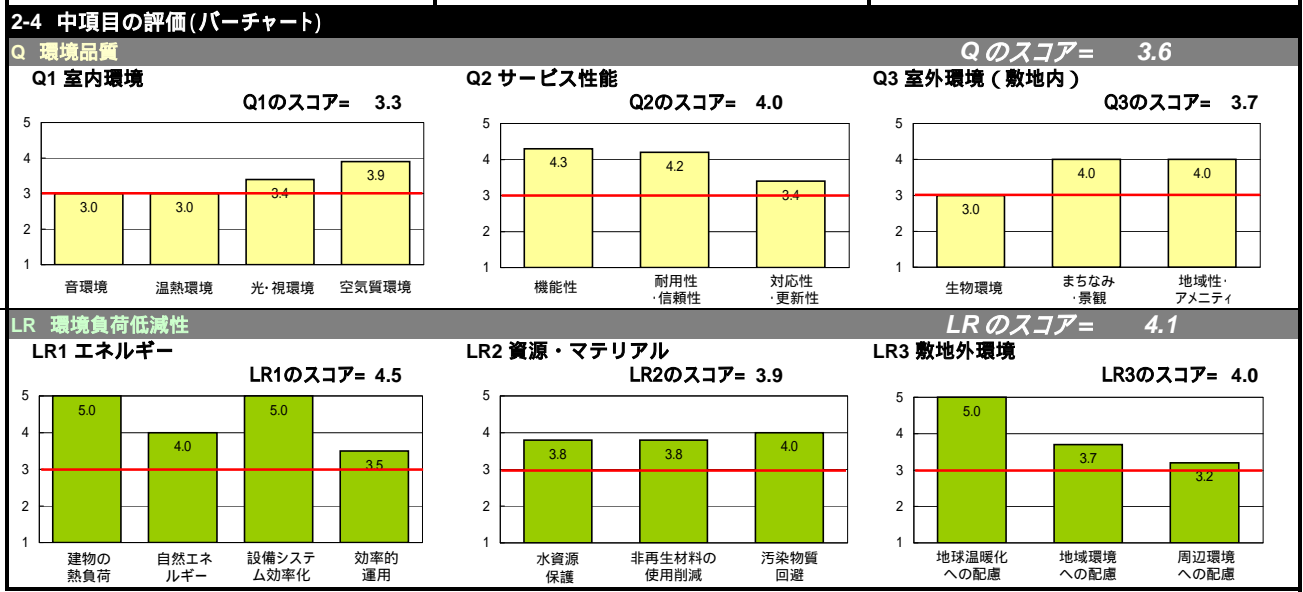
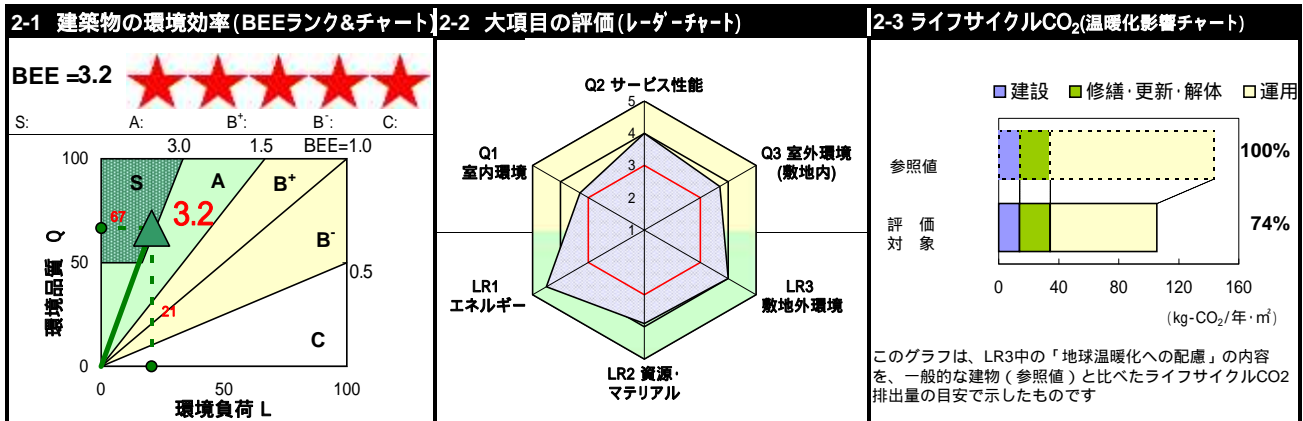


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)緑区合同庁舎	階数	地上5F/地下2F
建設地	神奈川県相模原市緑区西橋本5丁目	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	250 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,080 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年11月1日
敷地面積	3,762 m <sup>2</sup>	作成者	(株)梓設計 小笠原
建築面積	1,866 m <sup>2</sup>	確認日	2012年11月1日
延床面積	11,555 m <sup>2</sup>	確認者	(株)梓設計 阿部



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・地球環境、周辺環境に配慮した省エネルギーで使いやすく、維持管理のしやすい庁舎施設となる計画とする。		
<b>Q1 室内環境</b> ・F の全面採用や自然換気利用システムを採用するなど、良好な空気質環境を目指す計画とする。	<b>Q2 サービス性能</b> ・機能を満足させると共に、耐久性、更新性に配慮した材料、工法を選択する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・地上部の緑化及び屋上の緑化を計画する。 ・地域に開放された空気を計画する。
<b>LR1 エネルギー</b> ・太陽光パネルによる太陽光発電を計画する。 ・照明は人感センサーによる効率的な点灯が可能な計画とする。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・衛生器具は節水型とするとともに、擬音装置を設けた節水対策が行える計画とする。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・雨水浸透施設の設置により、公共下水道への直接放流を抑える計画とする。 ・建物利用者のための駐車場及び駐輪場を確保することにより、利用者の利便性と周辺道路での路上駐車防止を図る計画とする。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたし